

富士通 I T プロダクツ (石川県)

I o T ・ I C T 工場 見学ツアー

ヒト、モノ、環境をネットワークで有機的につなげるIoT (Internet of Things)。

ドイツのIndustry4.0や米国のIndustrial Internetなど、各国でもIoT技術を活用したものづくりへの取り組みが注目を集めています。富士通 I T プロダクツでは、このIoTを活用したソリューションに加え、トヨタ生産方式 (TPS) をカスタマイズした F J P S の取り組みや、各種見える化を推し進め、次世代のものづくりソリューションを実践しています。今回TRYプロジェクトでは、IoT、ICT技術等の活用によって、コスト低減や生産性向上といった成果をあげている富士通 I T プロダクツの工場を視察します。

日程

平成30年10月26日 (金) ~ 27日 (土) 1泊2日

募集

募集人数：30名 参加費：55,000円※ 申込期限：平成30年9月21日 (金)

対象：相模原商工会議所工業部会会員 ※往復航空券 (諸税)、宿泊費、食事 (朝1昼2夕1)、チャーターバス、各施設見学料を含みます

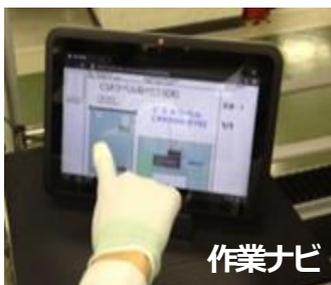
行程

10/26 (金)		10/27 (土)	
07:40	羽田空港 集合	9:00	宿泊施設 出発
08:40	羽田空港 発	9:05-10:15	金沢21世紀美術館 見学
09:40	小松空港 着	10:20-11:30	兼六園 見学
11:00-12:00	昼食	11:40-12:30	昼食
13:00-16:00	富士通 I T プロダクツ 視察	13:55-14:55	大日盛 酒蔵資料館 見学
17:00	ホテル チェックイン	16:40	小松空港 発
18:00-19:30	懇親会	17:50	羽田空港 着

行程は予定のため変更になる場合があります

TPSとI o T ・ I C Tで生産革新！〈富士通 I T プロダクツのみどころ〉

- 後工程引取りと進み遅れの見える化
 - ・ 定位置停止コンベヤライン
 - ・ 多品種少量生産に対応した混流生産方式
 - ・ ピンポン球かんばん
- 品質への取り組み
 - ・ 異常の見える化 (アンドン)
 - ・ 製造情報の管理 (トレーサビリティ)
 - ・ 4 M変更の見える化 (変化点管理ボード)
- I o T ・ I C T を利活用したものづくり
 - ・ ポータブル無線端末の活用 (作業手順ナビゲート)
 - ・ R F I D の活用 (段取り効率化・D P S)
 - ・ 画像認識技術の応用



作業ナビ



スパコン京を製造した生産ライン

〈富士通 I T プロダクツ 概要〉所在地：石川県かほく市笠島1番地1/従業員数：550名 (2018年4月現在)

富士通製のメインフレーム、UNI X、基幹 I A、スパコンなどの中大型サーバ、およびストレージシステム等を製造する富士通の基幹工場拠点として、2002年4月に設立。設立当初より「QCDの追求による顧客満足度の向上」を事業方針として、フレキシブルな製造体制の確立、製造基盤の整備、生産体制の合理化を推進。「トヨタ生産方式」導入による「ものづくり革新活動」をはじめ、各種の改善、提案、啓発活動を全社一丸となって継続推進することで、より優れた製品をお客様に提供しつづけています。

FAX申込 042-753-7637 または メール sinkou@sagamihara-cci.or.jp まで

事業所名			
参加者氏名1		役職(所属)	
連絡先電話番号		F A X 番号	
E - m a i l			